

六郷

～元気に輝いて～



令和5年度
第32号
2023. 9.1

道徳的な価値についてじっくり話し合うことができました！～道徳科授業研究会～

30日には、2年松組と5年松組で道徳科の研究授業が行われました。近年は「議論し合う道徳」をキーワードとして授業が行われています。両クラスの授業共に、自分の思いを伝えようと対話を進めていく様子が見られ、指導して下さった仙北出張所の指導主事の先生からは、そのような子どもたちの姿にお褒めの言葉をいただきました。

対話を通して、道徳的な価値について考えを深めることができた子どもたち。このあとの生活の中で、それらの体験が生かされるものと楽しみにしています。

【2年松組 教材名「おれたものさし」 主題：勇気をもって】

教材では、先生の物差しを折ってしまったのぼるが、近くにいたひろしにその罪をなすりつけようとします。そのような場面に出くわしたことはないかもしれませんが、その状況になったら、自分なら「注意する」・「注意できない」を意思表示したり、双方の立場に立って考えたりすることで、子どもたちは「正しいことをするために大切なこと」に、次第に気付いていきました。最後の場面で、「ぼく」は、のぼるに折れた物差しを返します。この行動について、「ぼくは、のぼるに、みんなと仲良くなりたいから物差しを返したのではないか。」という発言がありました。正しいことをやり通すだけでなく、友達関係をよい方向に向けようとするこの発言には、参観していた先生方も驚かされました。子どもたちの考えの広がりや深さに感心した一時間となりました。



【5年松組 教材名「ノンステップバスのできごと」 主題：誰にでも相手の立場に立って親切に】

この教材では、ノンステップバスに車椅子のお客さんが乗ろうとします。それにより停車時間が長くなったことに対して苦情を言っている高校生に賛同する気持ちをもって和也が、車椅子で乗ろうとしている乗客を手伝っているおじさんの「(障がいがある人でも)バスに乗るのは当たり前」という言葉に、これまでの自分の考えを改めようとするものでした。

「親切にする」ことはこれまでも行ってきたことですが、相手の立場や気持ちを考えて行動していたか、どんな相手にでも親切にすることができていたかなど、これまでの自分の行動を振り返りながら思いを新たにしている子どもたちの姿からは、道徳の時間に考えたことを今後の生活に生かしてくれそうな期待をもつことができました。また、自分の考えをしっかりと伝えたり友達の考えをメモしたりする様子も見られ、学習意欲の高さを感じました。

